

微生物科学研究の 多様性と新展開



京都大学微生物科学寄附研究部門主催 第二回シンポジウム

京都大学微生物科学寄附研究部門(設置期間:平成20年10月から平成26年3月まで)は、公益財団法人発酵研究所からの寄附により設立された全学寄附研究部門です。

微生物は地球上で最も普遍的で多様性に富んだ生物です。それに伴い、微生物科学に関する研究も、生態学から病原性まで極めて多様な視点から進められています。本シンポジウムでは、様々な分野で先端的な微生物科学研究を展開している京都大学の研究者により最新の研究を紹介します(第一部)。第二部では、若手研究者を中心としたポスターセッションを行い、微生物科学に関連する研究者の交流をはかります。さらに、京都大学微生物科学寄附研究部門で得られた成果を第三部で紹介するとともに、今後の微生物科学研究の展開について論議します。

日時 平成25年11月8日(金)
13:00-17:25(受付開始12:30)

講演会
参加無料

場所 京都大学
北部総合教育研究棟 益川ホール(講演会、ポスターセッション)
旧演習林事務室(コーヒープレーク、交流会)

プログラム

13:00-13:05 開会挨拶 江崎信芳(理事・副学長)

13:05-13:15 来賓挨拶 中濱一雄(公益財団法人発酵研究所 常務理事)

第一部 京都大学における微生物科学研究の多様性

13:15-13:40 「湖沼・海洋の細菌と原生生物はダイナミックに生きている」
中野 伸一(生態学研究センター)

13:40-14:05 「森のキノコのバイオテクノロジー」
本田 与一(農学研究科)

14:05-14:30 「フットワークで稼ぐ病原微生物学:ラボサイエンスとフィールド
サイエンスのクロスオーバー手法を食中毒菌の生態解明や感染防止へ役立てる」
西淵 光昭(東南アジア研究所)

14:30-14:40 休憩(10分)

14:40-15:05 「微生物機能を活用した創薬ケミカルバイオロジー」
掛谷 秀昭(薬学研究科)

15:05-15:30 「膜内部でのタンパク質切断による表層ストレス応答制御機構」
秋山 芳展(ウイルス研究所)

第二部 ポスターセッションを介した研究交流

15:30-16:30 若手研究者を中心とするポスターセッション(益川ホール前ラウンジ)

*コーヒープレーク(旧演習林事務室)を併行で実施

第三部 微生物科学寄附研究部門の研究成果

16:30-16:55 「酵母からのアプローチ:食糧・環境・エネルギーの持続性確保に向けて」
島 純(微生物科学寄附研究部門)

16:55-17:20 「健やかで持続的な循環型社会を支える微生物機能開発
-肝心要は根と腸管-」
小川 順(農学研究科)

17:20-17:25 閉会挨拶 宮川 恒(農学研究科長)

講演会終了後 19:30 交流会(旧演習林事務室) 一般:3000円 学生:無料

申込み方法

氏名・所属をご明記の上、下記メールアドレスにお申し込み下さい。
また、合わせて交流会への参加をお知らせ下さい。会費:一般3,000円、
学生:無料(定員150名:締め切り 11月1日、ただし定員になり次第締め切り)

agri-soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

尚、申込み受付のお返事は致しません。

お申し込みの際に頂きました個人情報は、本シンポジウムの参加者管理の目的以外には使用致しません。

*事前申し込みをしていない場合でも、当日、会場の余裕があれば参加して頂けます。

問い合わせ先

京都大学微生物科学寄附研究部門
TEL: 075-753-9545 / FAX: 075-753-9544
<http://www.microbial.kais.kyoto-u.ac.jp/>

交通アクセス

- 京都駅または阪急四条河原町から、市バス17系統「京大 農学部前」下車
徒歩5分
- 京阪出町柳から 徒歩15分



〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/intro/facilities/kyoshokuin/hokubu>